

ビンカ ミニナツ シリーズ

(株)ミヨシ作出

高温多湿の日本の夏でも花壇植えが可能な強健ミニビンカ。初期生育はゆっくりですが、真夏でも旺盛に生育し、ドーム状に株張り 30cm 以上に育ちます。花壇植え用途はもとより寄せ植え需要にも応えられる期待のビンカです。

用土

排水の良く、保肥力のある土。基肥料として緩効性肥料を施用することをお勧めします。
pH=5.5~6.0、EC=0.8 以下

温度管理

昼温 24~30℃ 夜温 18℃。
鉢上げ初期は高目の温度管理にして下さい。

施肥管理

緩効性肥料による置き肥と生育を見ながら液肥を併用します。

灌水管理

- ・定植前にポット培土に均一に水分を含ませる（気層が潰れない様に複数回に分けて）。
- ・定植後、プラグ苗とポット培土が密着する様に灌水をする（気層が潰れないように）。
- ・根が張り出すまではプラグ培土を乾かさないう様に水分レベルはやや多めの管理。
- ・活着後は適正な水分レベルに戻す。
- ・ピンチ後、脇芽が萌芽する期間は特に過乾燥には注意する。
- ・灌水は晴天時午前中におこない、葉の濡れ時間を少なくすると共に、夜間湿度を低く保つ。

ピンチ

プラグ定植後、2~3 週目前後に節間徒長の無い下位節 3 節前後を残して頂芽をピンチ。ピンチ間隔は 3 週程度がお勧めです。その後は、枝を形整える様にピンチをして草姿を整えて下さい。出荷日の 2.5~3 週前にはピンチを終えるようにして下さい。
天候の悪い日にピンチすると傷口が乾かずに雑菌が入りやすくなるので、天気の良い日にピンチを行い、後は殺菌剤散布をする事をお勧めします。

栽培期間

鉢上げ~出荷 8~12 週(12 cmポット)
プラグ苗の下葉が埋没するような深植えは厳禁。プラグ肩 5 mm弱程度の浅植えをお勧めします。

品種特性

ピーチオレ	シリーズ中、一番大柄になる品種。下葉黄化しやすい為に、過乾燥や肥料切れには要注意。
ストロベリー	ピーチオレとカザグルマの中間的な草姿、性質。ミニナツのスタンダード品種。
カザグルマ	草姿（花・葉）コンパクトで、ポット苗でのボリュームはやや作り難い。
カザグルマ ピンク	節間コンパクトで分枝も良く、苗草姿は一番作り易い。

その他

低温期の灰カビに注意が必要です。殺菌剤予防散布・地上部の濡れ時間を短くする・花殻に注意する必要があります。

注意点

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう。
- EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合もあります